

## 募集内容 教育訓練給付制度を利用したい方

### 教育訓練給付制度を利用したい方

本学教養学部は、教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座の実施大学です。当該講座は、受給資格を有する方が出願時に申請することで受講することができます。修了条件を満たした場合、給付対象となる経費の 20%に相当する額（上限 10 万円）を受給することができます。

「教育訓練給付制度」の詳細は、厚生労働省のホームページにも掲載されています。

[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou\\_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/jinzaikaihatsu/kyouiku.html)

#### 1. 対象となる学生種

選科履修生、科目履修生

#### 2. 受講期間

選科履修生 2024 年度第 2 学期および 2025 年度第 1 学期（2024 年 10 月 1 日から 2025 年 9 月 30 日）

科目履修生 2024 年度第 2 学期（2024 年 10 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日）

#### 3. 受給資格

住所を管轄するハローワークに確認してください。

#### 4. 給付金受給までの流れ

受講する講座の選択

修了条件は各講座により異なります。

詳細は下記の本学ウェブサイトをご確認ください。

<https://www.ouj.ac.jp/admission/gakubu/training-education-benefits/>

↓

\*\*\*\*\*

[開設講座と科目群]

対象学生種: 選科履修生

講座名（指定講座番号）: 教養学部企業会計コース（1220015-9920012-2）

科目群: 簿記入門（22）、ファイナンス入門（23）、現代の内部監査（22）、管理会計（22）、国際経営（19）、マーケティング（21）、サプライチェーン・マネジメント（21）、会計学（24）

対象学生種: 選科履修生

講座名（指定講座番号）: 教養学部企業経営コース（1220015-9920022-5）

海からみた産業と日本（22）、サービスサイエンス（23）、イノベーション・マネジメント（23）、ファイナンス入門（23）、現代の内部監査（22）、管理会計（22）、国際経営（19）、経営情報学入門（23）、経済社会を考える（19）、現代経済学（19）、財政と現代の経済社会（19）、金融と社会（20）、産業・組織心理学（20）、マーケティング（21）、NPO・NGOの世界（21）、サプライチェーン・マネジメント（21）、経営学入門（24）、開発経済学：アジア社会の変容（24）、官民の人的資源論（24）

対象学生種:科目履修生

講座名(指定講座番号): 教養学部企業経営(短期養成)コース(1220015-9920042-0)  
海からみた産業と日本(22)、サービスサイエンス(23)、イノベーション・マネジメント  
(23)、ファイナンス入門(23)、現代の内部監査(22)、管理会計(22)、国際経営(19)、経営  
情報学入門(23)、経済社会を考える(19)、現代経済学(19)、財政と現代の経済社会  
(19)、金融と社会(20)、産業・組織心理学(20)、マーケティング(21)、NPO・NGOの世界  
(21)、サプライチェーン・マネジメント(21)、経営学入門(24)、開発経済学:アジア社会  
の変容(24)、官民の人的資源論(24)

対象学生種:選科履修生

講座名(指定講座番号): 学校地域連携コーディネーターコース(1220015-2320032-8)  
現代教育入門(21)、コミュニティと教育(24)、生涯学習を考える(17)、教育社会学概論(19)、  
教育の行政・政治・経営(23)、社会教育経営実践論(22)、生涯学習支援の理論と実践(22)、心  
理と教育へのいざない(24)、学校と法(24)、市民自治の知識と実践(21)、社会調査の基礎  
(19)、情報社会と国際ボランティア活動(24)、問題解決の進め方(19)、NPO・NGOの世界(21)、  
博物館教育論(22)、日本の文化と教育(23)、心理カウンセリング序説(21)、思春期・青年期の心  
理臨床(19)、キャリアコンサルティング概説(20) ※対象科目等の詳細は上述のウェブサイト  
をご覧ください。

対象学生種:選科履修生

講座名(指定講座番号): データサイエンスリテラシーコース(1220015-2320012-2)  
データサイエンス・リテラシ導入(22)、情報技術が拓く人間理解(20)、AIシステムと人・社会と  
の関係(20)、情報学へのとびら(22)、データサイエンス・リテラシ心得(22)、情報セキュリティ  
概論(22)、身近な統計(24)、データサイエンス・リテラシ基礎(22)、統計学(19)、心理学統計  
法(21)、社会統計学入門(24)、計算の科学と手引き(19)、プログラミング入門Python(24)、C  
言語基礎演習(20)、Rで学ぶ確率統計(21)、表計算プログラミングの基礎(21)、データ構造の基  
礎(24)、アルゴリズムとプログラミング(20)、問題解決の進め方(19)、日常生活のデジタルメ  
ディア(22)、経済社会を考える(19)、情報理論とデジタル表現(19)、初歩からの数学(18)、経  
営学入門(24)、数値の処理と数値解析(22)、データの分析と知識発見(24)、データベース  
(23)、マーケティング(21)、ユーザ調査法(20)、サプライチェーン・マネジメント(21)、経営  
情報学入門(23)、入門線型代数(19)、社会調査の基礎(19)、自然言語処理(23)、問題解決の数  
理(21)、解析入門(24)、情報ネットワーク(18)  
※対象科目等の詳細は上述のウェブサイトをご覧ください。

対象学生種:選科履修生

講座名(指定講座番号): データサイエンスアドバンスコース(1220015-2320022-5)  
データ構造の基礎(24)、情報セキュリティ概論(22)、AIシステムと人・社会との関係(20)、  
統計学(19)、心理学統計法(21)、社会統計学入門(24)、データベース(23)、マーケティング  
(21)、ユーザ調査法(20)、サプライチェーン・マネジメント(21)、自然言語処理(23)、アルゴ  
リズムとプログラミング(20)、データの分析と知識発見(24)、続・C言語基礎演習(23)、数値  
の処理と数値解析(22)、経営情報学入門(23)、問題解決の数理(21)、解析入門(24)、情報ネッ  
トワーク(18)  
※対象科目等の詳細は上述のウェブサイトをご覧ください。

\*\*\*\*\*

↓

講座修了条件

講座については下記の本学ウェブサイトをご覧ください(入学料や受講料についても明記していま  
す)。

<https://www.ouj.ac.jp/admission/gakubu/training-education-benefits/>

↓

出願（受講申し込み）

インターネットでの出願

出願情報入力画面で基本情報を入力する際、「教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座」欄の希望講座を選択してください。

郵送での出願

別冊の『出願票他提出書類セット』様式2の「教育訓練給付制度」欄に希望講座の番号を記入してください。

【注意】 学校地域連携コーディネーターコース、データサイエンスリテラシーコース、データサイエンスアドバンスコースの教育訓練給付制度利用による受講を申し込む場合は、出願手続終了後出願期間終了日（9月10日）までに、teb-info@ouj.ac.jpまで希望するコースをご記載の上、お知らせください。

↓

学費の納入

出願後に届く払込取扱票で学費を納入してください。

↓

受講

選科履修生は1年間、科目履修生は6カ月間、講座を受講します。

↓

必要書類の受領

受講期間終了後、受講講座を修了した方には、「教育訓練給付金申請書」、「教育訓練修了証明書」、「領収済証明書」を学習センター支援室より送付します。

修了できなかった方（再試験の方を含む）には、最終的に修了できなかった場合に通知します。

受講期間終了日の7日後までに上記の書類が届かない場合は、必ず本部学習センター支援室学生支援係（電話：043-276-5111 総合受付）まで連絡してください。

給付金の受給

本学からの証明書等を受領後、1カ月以内に住所を所轄しているハローワークで手続きをし、給付金を受給してください。

注意事項

事前に受講者本人の住所を管轄するハローワークへ受給資格の有無を必ず確認してください。当該講座（「学校地域連携コーディネーターコース」「データサイエンスリテラシーコース」「データサイエンスアドバンスコース」は除く）の受講申請は必ず出願時に行ってください。入学後の申請は認めません。

教養学部と大学院の両方の講座を受講しても、支給申請できるのは1つの講座のみです。

雇用保険の加入のない方（公務員等）は利用できません。